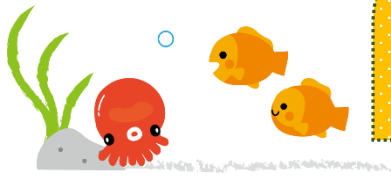


蒲生公民館図書室 8月の展示紹介



「戦争と平和」

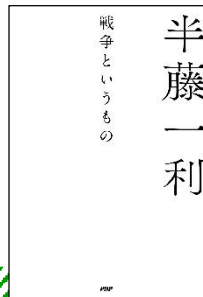
8/15 は終戦の日。戦争と平和について考える本を展示。



「戦争というもの」
半藤一利 著

「ヒロシマ 消えたかぞく」
指田和 著

半藤一利が、最後に日本人に伝え残したかったことは、「戦争とはどのようなものか」を浮き彫りにした珠玉の一冊。



ヒロシマに落とされたたった一発の原子爆弾が、笑顔にあふれた家族を消し去った…家族で平和を考えるための写真絵本。



「夏の絵本」

季節は夏！夏をたっぷり楽しめる絵本を展示します。



「みずくみに」 飯野和好 絵・文
畑仕事の家族のために、沢へ水汲みに行くちよちゃん。自然の水の冷たさが伝わる絵本。
「うみのそこたんけん」 中川ひろたか 文
海の底はどうなっているんだろう…海底を探検できる、すみずみまで楽しい絵本。

Pick up! /

「まだまだ夏休み」

夏休み、どうお過ごしですか？自由研究の本や課題図書を展示。

Pick up! /

「エカシの森と子馬のポンコ」 加藤多一 作
森で暮らす子馬のポンコ。長老の木・エカシたちに見守られて成長し…高学年向け課題図書。
「小学生の自由研究」 ガリレオ工房 編著
不思議で面白い実験や工作など、小学生を対象に身近な材料でできる自由研究を100テーマ掲載。

